

第334号 2013年 7月 16日
弘前大学総務部広報・国際課

学術講演会・研究発表会・公開講座

弘前大学安全保障輸出管理説明会開催のお知らせ

このたび、安全保障輸出管理の適正な管理について、制度に対する見識を深めるため、安全保障輸出管理説明会を開催します。本説明会により、国際的な安全の維持及び学術研究の健全な発展を期待するとともに、本学における技術の提供、貨物の輸出、留学生や研究生等の受入に対する安全保障の認識をもっていただき、適正な管理・審査処理をより円滑に進めるため、多数の教職員の参加をお待ちしております。

1. 日 時：2013年7月26日（金）14：30～16：20
2. 会 場：弘前大学コラボ弘大2階 地域共同研究センター セミナー室
3. 対 象：弘前大学教職員（特に、外国人留学生または外国人研究者受入（予定）研究者、受入手続き等事務担当者、研究協力事務担当者）
4. 講 演：「大学における安全保障輸出管理の要点と問題点」
山形大学教授 足立 和成 氏
5. 説 明：「弘前大学における輸出管理体制と申請手続きについて」
研究推進部研究推進課長 竹内 新

※参加を希望される方は、所属・職名・氏名を記載し、7月19日（金）までに、下記連絡先までお申し込みください。

申し込み・問い合わせ先： 弘前大学研究推進部研究推進課
TEL：0172-39-3906
FAX：0172-39-3919
E-mail: jm3906@cc.hirosaki-u.ac.jp

文部科学省「社会システム改革と研究開発の一体的推進」事業
地球再生人材送出拠点の形成「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」
「平成25年度第2回被ばく医療プロフェッショナルセミナー」開催のお知らせ（再掲）

弘前大学「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」では、琉球大学理学部物質地球科学科の古川 雅英教授をお招きし、被ばく医療プロフェッショナルセミナーを開催いたします。

1. 日 時：2013年7月18日（木）18:00～19:00
※セミナー終了後、講師と受講生の懇談会を開催予定
（15分程度）

2. 会 場：弘前大学医学部コミュニケーションセンター 2階
大会議室

3. 講 師：琉球大学理学部物質地球科学科地学系
教授 古川 雅英 氏

4. 演 題：「地球の多様性が紡ぐ自然放射線レベル」

5. 対 象：「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」受講生、教職員、
学部学生及び大学院学生、青森県内医療従事者、原子力関連施設従事者、
青森県内保健行政関係者

6. 参加費：無 料

7. 申込み：2013年7月17日（水）までに電話・FAX・メールのいずれかでお申込みくだ
さい。

○メールの場合：メールの件名を「被ばくセミナー申込」とし、所属・職名・氏名
を本文へ記入の上、E-mail: jm5401@cc.hirosaki-u.ac.jpまでお申込みください。

○電話・FAXの場合：0172-39-5521（電話） / 0172-39-5514（FAX）へ所属・職名・
氏名を添えてお申込みください。

申し込み・問い合わせ先： 弘前大学「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」事務局
被ばく医療総合研究所
TEL：0172-39-5521
FAX：0172-39-5514
E-mail: jm5401@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学保健学研究科 平成25年度 第1回大学院活性化講演会開催のお知らせ（再掲）
--

弘前大学大学院保健学研究科では、平成25年度第1回大学院活性化講演会を下記のとおり開催
しますので、お知らせいたします。

1. 日 時：2013年7月19日（金）17:40～19:00

2. 会 場：弘前大学大学院保健学研究科総合研究棟 6階 第24講義室

3. 講 師：北海道大学歯学研究科口腔病理病態学教室 進藤 正信 先生

4. 演 題：血管を標的とした基盤技術の確立と実用化への試み

5. 対 象：どなたでも参加できます。

※入場無料、事前の申込みは不要です。



問い合わせ先：弘前大学大学院保健学研究科 学務グループ

TEL：0172-39-5911

課題解決型学習と主体的な学び

—大学生のチャレンジ2013—中間報告会 開催のお知らせ（再掲）

産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業は、地域企業と連携して課題解決型学習を実施し、学生の企画提案力を育成するとともに、地域における雇用機会の拡大を目指し、実施するものです。

この事業において弘前大学は「地域企業と実践する課題解決型学習による主体的な学び」をテーマに、地域企業の抱える経営課題を素材に学生独自のアイデアで企画・提案を行っています。

今回の報告会では、学生と連携企業とのこれまでの活動を中間報告として発表し、皆様からのご意見をいただきたいと思っております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2013年7月19日（金）14：30～16：30

2. 会 場：弘前大学創立50周年記念会館 2階 岩木ホール

3. 内 容：学生と連携企業との活動中間報告

—連携企業と取組内容—

①弘前マルシェコンソーシアム

取組内容：弘前マルシェFORETの特徴を踏まえた新商品の企画提案

②道の駅ひろさき サンフェスタいしかわ

取組内容：集客力アップに向けた提案

③A-FACTORY

取組内容：青森新幹線延伸3周年記念に向けた商品開発

④A-FACTORY

取組内容：青森新幹線延伸3周年記念に向けたイベント企画

⑤あおり観光デザイン会議

取組内容：新幹線を活用した旅行商品の企画提案

⑥株式会社小林紙工

取組内容：ご当地かき氷シロップとパッケージの開発・販売

⑦たびすけ 合同会社西谷

取組内容：“人と繋がる”弘前まちあるきの企画提案

⑧ブナコ漆器製造株式会社

取組内容：ブナコ商品の販路開拓

4. 対 象：本学学生、教職員及び企業・行政関係者

5. 参加費：無 料

※参加人数確認のため、2013年7月16日（火）までに申し込み願います。

※なお、こちらのシンポジウムについてはFDの対象となります。

申し込み・問い合わせ先: 弘前大学人文学部 地域連携人材育成事業事務局(総合教育棟 2階)
TEL: 0172-39-3978、3192
E-mail: gp@cc.hirosaki-u.ac.jp

健康科学特別講演会「多指ハンドとその医学応用システム」開催のお知らせ(再掲)

人の体の中で最も複雑でかつ繊細な動作を行えるのは手だと言われています。手の指の動きを機械で実現することは、微細加工・計測の研究対象としても興味が湧く分野であり、かつ、その応用として、医用への応用があるとするとさらに興味をそそられます。今回のセミナーでは、ロボットハンドの第一人者である岐阜大学工学部機械工学科の川崎晴久教授に講師をお願いし、多指ハンドについての研究、開発、さらには、医学への応用を含めたその応用についてご講演いただきます。

医用システムに興味をお持ちの地域技術者、ならびに学生の皆様には、微細加工応用の知識を広げる意味でも広くご参加いただき、情報交換をしていただきたくご案内いたします。

1. 日 時: 2013年7月31日(水) 16:00~17:30

2. 会 場: 弘前大学理工学部1号館8番講義室

3. 講 師: 国立大学法人岐阜大学 工学部機械工学科
川崎 晴久 教授

4. 演 題: 「多指ハンドとその医学応用のシステム」

5. 対 象: 本学学部生及び大学院生、教職員、
ひろさき産学官連携フォーラム 微細加工・計測研究会
会員、(社)精密工学会会員、(社)計測自動制御学
会会員

6. 参加費: 無 料

7. 世話人: 小野俊郎、福田 眞 (弘前大学大学院理工学研究科)

8. 主 催: 弘前大学大学院理工学研究科
(「医工連携による健康科学教育プログラムの開発」)

9. 共 催: ひろさき産学官連携フォーラム 微細加工・計測研究科
公益社団法人 精密工学会東北支部(予定)
公益社団法人 計測児童制御学会東北支部(予定)

健康科学特別講演会
「多指ハンドとその医学応用システム」

講師: 川崎 晴久 教授
岐阜大学 工学部機械工学科

| 日 時: 平成25年7月31日(水)16:00~17:30
| 会 場: 弘前大学理工1号館8番講義室
(弘前大学1号館3F)

| 対 象: 弘前大学 学部生、大学院生、教職員
ひろさき産学官連携フォーラム 微細加工・計測研
究会会員、(社)精密工学会会員、(社)計測自
動制御学会会員

| 参加費: 無料

主 催: 弘前大学大学院理工学研究科 健康科学プログラム(健康科学システム)
共 催: ひろさき産学官連携フォーラム 微細加工・計測研究科
公益社団法人 精密工学会東北支部
公益社団法人 計測児童制御学会東北支部

備 考 書: 弘前大学大学院理工学研究科
健康科学プログラム 事務局 山岡 Tel. 0172-39-3674

問い合わせ先: 弘前大学大学院理工学研究科 健康科学担当 山岡
TEL: 0172-39-3674
E-mail: yamaoka@cc.hirosaki-u.ac.jp

有機フッ素化学に関する講演会開催のお知らせ(再掲)

有機フッ素化合物は私たちの身近な生活や先端科学技術の現場で広く活躍しています。しかし、その化学研究はまだまだ発展途上にあり、若い世代の研究者には大変魅力ある研究分野です。有機フッ素化学の基礎と応用のいくつかを分かり易く紹介します。

1. 日 時: 2013年8月1日(木) 14:00~15:00

2. 会 場 : 弘前大学大学院理工学研究科 1 号館 2 階 大会議室
3. 講演題目 : 有機フッ素化学入門
4. 対 象 : 本学理工学部 4 年生及び大学院学生

問い合わせ先: 弘前大学大学院理工学研究科 澤田英夫
TEL: 0 1 7 2 - 3 9 - 3 9 4 7
E-mail: hideosaw@cc.hirosaki-u.ac.jp

2 0 1 3 年度「化学への招待」弘前大学一日体験化学教室開催のお知らせ (再掲)

1. 日 時 : 2 0 1 3 年 8 月 6 日 (火) 1 0 : 0 0 ~ 1 6 : 3 0
2. 会 場 : 弘前大学理工学部及び教育学部
3. 対 象 : 高校生 (中学生・一般も可) 定員 6 0 名
4. 内 容 : 午 前 講 演「感染症と闘う薬たち」 (農学生命科学部) 橋本 勝

午 後 実 験

- A) 「色で測る!!-ドリンク剤中の鉄の定量-」
(理工学研究科) 糠塚いそし
(理工学研究科) 北川文彦
- B) 「果物のおおいを作る」 「ルミノールを用いた発光反応」
(理工学研究科) 川上 淳
- C) 「バイオ光化学電池」 「色が変わる無機高分子」
(理工学研究科) 阿部敏之
- D) 「酸素を吸う金属錯体の帰還」
(理工学研究科) 宮本 量
- E) 「ブラウン運動を見てみよう」
(教育学部) 岩井草介
- F) 「オリジナルセッケンを作ろう!」、 「魅せる!?カメレオンエマルジョン」
(理工学研究科) 鷲坂将伸

5. 主 催 : 日本化学会東北支部 弘前大学大学院理工学研究科
6. 後 援 : 弘前市教育委員会、青森県教育委員会、東北ポリマー懇話会、弘化会

※参加申込みは終了しました。

申し込み・問い合わせ先: 弘前大学大学院理工学研究科 喜多昭一
TEL: 0 1 7 2 - 3 9 - 3 5 6 7
FAX: 0 1 7 2 - 3 9 - 3 5 4 1
E-mail: kita@cc.hirosaki-u.ac.jp

**弘前大学資料館企画展示
「あの地震からX年 -記録された地震から学ぶ」 開催のお知らせ (再掲)**

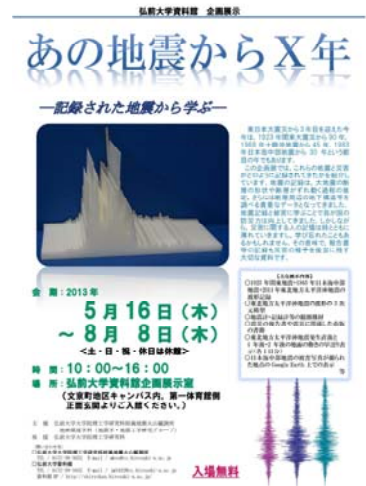
弘前大学資料館では「あの地震からX年 -記録された地震から学ぶ-」と題した企画展示を開催中です。東日本大震災から3年目を迎えた今年は、1923年の関東大震災から90年、1968年の十勝沖地震から45年、1983年の日本海中部地震から30年という節目の年でもありま

す。

1. 日 時：2013年5月16日（木）～8月8日（木）
（土・日・祝・休日は休館）
2. 開館時間：10:00～16:00
3. 会 場：弘前大学資料館 企画展示室

問い合わせ先：弘前大学大学院理工学研究科 准教授 片岡 俊一
TEL：0172-39-3616
E-mail：kataoka@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学資料館
TEL：0172-39-3432
E-mail：jm3432@cc.hirosaki-u.ac.jp



学 内 掲 示 板

学長オフィスアワー実施日変更のお知らせ（7月18日（木）→19日（金））

学長と本学の学生・教職員が直接対話する機会を設けるため、学長オフィスアワー毎月第1金曜日及び第3木曜日に実施しておりますが、下記のとおり実施日が変更になりますのでお知らせいたします。

変 更
7月18日（木）→19日（金）

問い合わせ先：弘前大学総務部総務課（秘書室） 内線3004
URL：<http://www.hirosaki-u.ac.jp/president/officehour.html>

青森県警察本部 生活安全企画課 子ども・女性安全推進課からのお知らせ

弘前市内で多くの性犯罪が発生しているとの情報が警察から寄せられています。学生への周知はもとより、教職員も十分に警戒するようにお願いします。



「弘前大学ねぶた」への参加と募金について（お願い）

今年も津軽にねぶたの季節がやってきたと感じられるようになりましたが、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、弘前大学のねぶたは、大学と地域住民との交流を図ることを目的として、昭和39年に「弘前ねぶたまつり」へ初参加し、以来連続の参加で、市民から『大学のねぶた』と親しまれており、この夏で連続50年の出陣を迎えることになりました。

このことは、学内の皆様の暖かいご支援、また、諸先輩のご努力によるものと厚く

御礼申し上げます。

弘前大学は、今年度も留学生がねぶたの制作に加わるなど、まさに全学一丸となつてのねぶた運行となり、地域に根ざした大学として地域の皆様とのふれあいの場である「弘前ねぶたまつり」に参加するため、弘前大学ねぶた実行委員会挙げて取り組むこととなりました。

つきましては、ねぶたの運行にあたり、教職員・ご家族の皆様にも多数ご参加いただきまして、『大学のねぶた』を盛り上げてくださるようお願い申し上げます。また、運行の経費等につきまして、誠に恐縮に存じますが、皆様のご厚志を賜りたいと存じますので、何卒ご協力くださるようお願い申し上げます。

募金にご協力いただける方は、現金を添えて各部局総務担当係（附属病院については総務課人事G職員担当）へお届け願えれば幸いに存じます。

なお、甚だ勝手ではございますが、個人ごとの領収書は発行せず、「ねぶた団扇」をもって領収書に代えさせていただきますので、ご了承願います。

1. 運行予定日：8月1日（木）、8月5日（月）、8月6日（火）

2. 大ねぶたの絵図：

（制作者） 聖龍院 龍仙 氏

（鏡絵） 水滸伝

『一丈青（いちじょうせい）奮戦の図』

水滸伝女将軍一丈青を手捕りにし、縄をかけようとする馬麟王矮虎（ばりんおうわいこ）と、奮戦する二刀流の使い手一丈青を描いております。

（見送り絵） 『一丈青』

代表： 弘前大学ねぶた実行委員会委員長 亀谷禎清

問い合わせ先： 弘前大学ねぶた実行委員会総務班 中村

（総務部総務課総務・秘書G）

TEL：0172-39-3013

弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

問い合わせ先： 弘前大学出版会（附属図書館内）

TEL：0172-39-3168

FAX：0172-39-3171

E-mail：hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp

国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」について

本学会が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」を作成しています。

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

<http://www.janu.jp/report/infomation.html>

第28号・第25号・第23号・第22号において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から）講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部広報・国際課広報・国際グループ

E-mail：jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp FAX：39-3498、内線：3029